

第62期日本材料学会学術講演会
出張報告書

作成日：2013/05/28

文責：同志社大学大学院
理工学研究科機械工学専攻
構造工学研究室M1木村匡宏

学会名：第62期日本材料学会学術講演会

主催：日本材料学会

開催期間：2013年5月18日から19日

開催場所：東京工業大学大岡山キャンパス

研究題目と発表者：微細ガラス繊維を添加したCFRP中のき裂進展抑制 - エポキシ母材中に埋没させた炭素繊維束に沿う微細き裂進展 -

木村匡宏，大窪和也，藤井透

同道者：大窪和也

発表形式：講演（15分間）

学会HP: <http://www.jsms.jp/kaikoku/62gakuprogram.htm>

私は2013年5月17日～19日に東京大学で開催された、日本材料学会主催の第62期学術講演会に参加しました。下記にその詳細を記します。

《東京工業大学大岡山キャンパスへの移動》

発表日程が5月19日9:00からであったので前日の5月18日午前に新大阪駅を出発し、新幹線に乗り、品川駅へ向かいました。そこからJR線、地下鉄線に乗り換え東京工業大学大岡山キャンパスに午後には到着しました。

《第62期学術講演会への参加》

この第62期学術講演会では材料に関する研究が数多く発表されていました。これらの発表を公聴するとともに、5月19日に私は微細繊維を添加した平織CFRPの繊維束に沿う亀裂進展挙動に関する研究について発表しました。発表前は緊張しましたが練習通り発表することができました。討論の時間では、最初の質問では質問の意図が理解できずにうまく答えることができませんでしたが、その後の質問には何とか答えることができました。発表が終わった後も金属とセラミックのセクションを公聴しました。この学会に参加して最も衝撃を受けたのは社会人のレベルの高さでした。研究に関しても発表の仕方についても学生とは比べ物にならず、より激しい議論が繰り広げられていました。さまざまな種類の貴重な発表を聞くことができ、良い勉強になりました。

《東京観光》

学会が終わった後、東京観光にスカイツリーを見に行きました。1周年が近いらしくパフオーマーがたくさんいました。なかのお土産屋さんで家族とゼミへのお土産を買いました。

《会場からの帰宅》

行きと同様に新幹線で品川駅から新大阪駅まで帰りました。自宅についたのは21時ごろでした。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 東京工業大学 大岡山キャンパス



Fig.2 発表の様子



Fig.3 東京スカイツリー